

療育相談員だより

令和6年12月



文責 児童発達支援センターにっこにっこ 山本有三

師走も半ばに入りました。だんだん冬の冷たい空気を感じるようになりました。お正月に近づいているなあと感じる今日この頃です。皆さんは、どうお過ごしでしょうか。忙しい時とは思いますが、体調を崩さないように、気をつけてお過ごしください。

ところで、2回目の「療育相談員だより」を書いてみました。今回は、第4回療育支援者勉強会の報告をします。勉強会への参加者は、今回32名でした。ありがとうございました。

今回は、センター長の笠より「より良い会議の進め方」～チーム・組織での子どもへの関わり～について講話と演習を行っていただきました。

会議の種類

- ・情報を共有するための会議（職員会議、モニタリング会議など）
- ・アイデアを出すための会議（企画会議、新商品の開発など）
- ・問題を探る会議（改善会議、事故防止など）
- ・問題を解決するための会議（ケース会議、支援会議など）

会議のNG

- ・決まった人ばかり発言する
- ・愚痴で終わる
- ・意見を否定される など

会議のグラドルール

- ・発言は3分以内
- ・子どもの事で話し合っていることを忘れない
- ・人の発言は最後まで聞く
- ・批判はNGだが反論は歓迎 など

より良い会議のために

- ① 会議の目標・目的を明確に
- ② 流れを視覚化
- ③ 役割分担

会議に安心して参加できるように
(**心理的安全性**)

- ・何を言っても大丈夫
- ・発言に対する評価を気にしない
- ・正解を手放す

演習1 企画会議「忘年会の計画を立てよう」

日時、場所、内容などについて、それぞれの班（4～5人で）話し合いました。

テーブルにはお菓子もあり、和気あいあいと話し合いは弾んでいました。

たとえば、

12月の土曜日とか12月末、具体的な場所、席はくじ引き、ゲームの中身、プレゼント交換、飲酒しない人にはケーキをなど、わずか10数分で話し合いができました。



演習2 ケース会議「事例をもとにして話し合う」

事例の概要

ケース会議の進め方

- ① 日程を事前に決めておく
- ② 対象となるケースや参加者の選定
- ③ 参加者からの情報の共有
- ④ 課題の抽出・ゴールの設定
- ⑤ 課題（行動）の背景を考える
- ⑥ 具体的な取り組み案
- ⑦ 役割分担
- ⑧ 振り返り

園に在園している男児について多動傾向があるような落ち着かない状況があり、発達について保護者の理解が難しい面がある。

（当日は、困り感など、もっと詳しい情報を提示した）

それぞれのグループで話し合いましたが、忘年会について話し合うようにはいかないようでした。事例を読んで、情報の整理をし



ながら、課題を見つけていきます。さらに、そこからどう進めていくかを検討しなければなりません。そのためにも、互いで意見交換をたくさんしながら、ゴールを目指します。それぞれの班で、とても活発に話し合いがなされていました。



それぞれで、とても活発に話し合いがなされていました。

勉強会後のアンケートです。

1 本日の研修を受けて、よかったことや分かったこと、また分からなかったことなどありましたらお願いします。感想でも構いません。

① 会議の進め方、雰囲気はそれぞれの職場で異なることを実感できました。ファシリテーターの方が上手だったので、意見が出しやすかったです。今後、職場で行うときは、目標を決めてしたいと思います。

② ケース会議の行い方は、その都度悩みながらでした。今日の研修で、なるほど!!とすっきりしました。目的がぶれやすかったと反省しています。

③ 研修、お世話になりました。ケース会議やりたいと思いながらも、できずにいました。今日の研修で、短い時間でもやっていけるのではと感じました。ありがとうございました。

④ 当園では、職員会議は月1、朝礼は月曜日に実施していますが、問題を解決するための会議はありません。今回の内容で、会議のあり方を知ることができました。

⑤ これまでの会議は、「ただ話し合っている」という感じだったので、今回の研修での学びがとても衝撃でした。ありがとうございました。

今後の療育支援者勉強会について

おわび・・・1月25日(土)実施予定していた勉強会「当事者・保護者の体験」は、中止になりました。来年度、取り組む予定です。申し訳ありませんでした。

次回 第5回 令和7年2月22日(土)

10時～12時 総合体育館会議室

内容 「療育事業所の紹介」等

昨年も大変好評でした。

関係者の皆様、ぜひご参加ください。また事業所の方も、積極的に紹介をお願いします。